
夢雪

榊 海良

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢雪

【Nコード】

N47260

【作者名】

榊 海良

【あらすじ】

高校2年の城崎昶はクラスメートの栄田由南に巻き込まれ、秘伝の日本刀を渡される。
その日本刀は午前0時を示すと別世界へ連れ込まれてしまう不思議な剣であった。

昶は何故剣を託されたのか――

一体別世界とは何故出来たのか――

壱・日本刀と寒さ

「この糞寒いなか、なんで呼ばれたんだ・・・俺――」

季節はもう秋から冬に替わろうとする。

コート無しでは出かけられないほど寒くなった。

PM 11:45、シロサキアキラ城崎昶は女友達のエイダユナ栄田由南に近く of 自然公園へ呼び出された。

不満を呟きながらも、その公園を目指す。

「遅かったわね。 城崎。」

一足先に栄田が来ていたのだ。

「うつせえなア．．．　　そんで、要件は？？」

栄田といえば、クラスでも不思議な存在で、友人も少なくて昶はなるべく関わらないように生活してきた。

一部の噂によると、家で黒魔術とか不気味なコトをしているらしいとのこと。

ああ．．．．．嫌だ．．こいつと一緒に居たくない．．．

「私、男って生き物が嫌いな。」

「はあ？？？　　意味分かんねエ．．」

すると、急に栄田は甲高い笑い声を上げた。

「．．．おい！！ お前大丈夫かよ！！ 神経狂ってんじゃないのか！」

そんなことをしていると、栄田はドコから持ってきたのか分からないが、刃渡り80cmくらいの日本刀を裨の首へ向けた。

「・・・・・・・・危なッ・・・・・・・・お前、なにす・・・・・・・・」

「だから言っただでしょう。男という生き物が嫌いなもの」

「俺を殺そうって言うのか!?!」

「それ以上喋ると斬るからね」

「・・・・・・・・ッ」

「私が貴方みたいなのを呼んだワケ。知りたいでしょう。」

くそッ

対抗したいけど、

口を開いたら・・・

間違いなく殺られる・・・！！

すると静かにはなし始めた。

「この日本刀は我が栄田家に伝わるもの」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4726o/>

夢雪

2010年11月4日13時46分発行